

GIGA スクール構想

誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現

子どもの視点

- 機器活用を通じた情報活用能力の伸長
- 自分の習熟の程度に応じた学習
(個別最適化学習 ※AIドリル等の導入検討が必要)
- 複数の考えや意見を即時に共有することができる
(教え合い、学び合いに有効なツール)
- 不登校や別室登校の場合、授業動画や教材配信による学習機会が保障される

クラウド活用による
データ収集・分析

教員の視点

- 教科書のQRコード・音声や動画の活用によって、興味関心の喚起や習熟の深化を図る
- 教材や課題の配布・提示・回収等が容易
- 生徒一人一人の学習状況や授業中の反応を把握可能
- 教材活用や成績処理効率化による働き方改革の推進

- 学校との連絡や情報共有が容易になる
- 臨時休校等で登校できない場合でも、児童生徒の健康観察や学習支援がオンライン上で可能

保護者の視点